

令和6年度 「学校生活のきまり」

鈴鹿市立鈴峰中学校

～学校の規則を守り、人の話をよく聴き、自ら進んで行動できる～

(1) 服装・身なり

服装は、学校指定の制服または学校指定のジャージとする。体型にあったものを正しく着用する。

① 制服

(標準学生服の場合)

- ア. 上着は、標準学生服で袖まくりはしない。暑い場合は下にカッターシャツを着用し、名札をつけたうえで上着を脱ぐこと。
- イ. 標準学生ズボン、通常より低い位置まで下げて履かない。裾がほつれた場合はすぐに直すこと。
- ウ. ボタンは、鈴峰中マーク入りで、前ボタンは5つ全てをとめる。袖ボタンは左右2個ずつ縫いつける。裏ボタンは標準のものをつける。
- エ. カラーは、標準のもの(高さ4cm程度)をつける。または、襟上部に白い縁取りの制服と一体化となったものとする。
- オ. ベルトは、必ず着用し、柄や装飾のない落ち着いた色(黒・紺・茶)のものにする。エナメル製や極端に細いもの、金属部分の多いものなどは禁止する。
- カ. 夏季は上着の代わりに白のカッターシャツを着用する。第2ボタンまでとめる。

※カッターシャツの下に着る下着は、派手でないものとする。

※ヒートテック等のアンダーウェアは派手でないものとする。

(セーラー服の場合)

- ア. 上着は、学校指定のセーラー服とする。袖のスナップボタンはとめる。袖まくりはしない。暑ければ下にブラウスを着用し、名札をつけたうえで上着を脱ぐ。
- イ. スカートを、学校指定のスカートとする。丈は膝が隠れるようにする。(膝立ちで床に届く長さ)
- ウ. スカーフは、学校指定の白いスカーフとする。左右のバランスを整えた、自然な長さで結ぶこと。
- エ. 夏季は上着の代わりに白のブラウスを着用し、リボンをつける。リボンの結び目がブラウスの第1ボタン付近にくるように結ぶ。(ゆるく結ばない) ボタンは全てとめる。

※ブラウスの下に着る下着は、派手でないものとする。

※ヒートテック等のアンダーウェアは派手でないものとする。

② 名札

- ア. 学生服，セーラー服の場合は，所定の名札を左胸ポケットの上につける。
- イ. カッターシャツやブラウスの場合は，紺色のフェルトに縫い付け，安全ピンで左胸ポケット付近に付ける。

③ 靴下

- ア. 靴下は，白，黒，紺，灰色，派手でないものを認める。くるぶしソックスは禁止。（くるぶしが完全に隠れるように）進路選択のためにもきわどい丈を選ばないこと。
- イ. ストッキングやタイツは派手でないものを認める。

④ 体操服

- ア. ジャージ上下・半袖シャツ・ハーフパンツは，学校指定のものを着用する。（アンダーウェアの着用を認める）
- イ. 半袖シャツは学校指定のもの，または白色ワンポイントマークまでのTシャツとする。

⑤ 防寒具

- ア. 登下校，部活動において，学校指定ウィンドブレーカーの使用を認める。（冬季に限り，教室内でひざ掛けとして上ウィンドブレーカーの使用，掃除の時間の使用，体育の授業での使用を認める）
- イ. 防寒用としてのセーターは，中に着用してもよい。（派手でないもの）ただし，タートルネックは禁止する。
- ウ. 手袋，マフラー，ネックウォーマーは派手でないものを認める。始業時間～終業時間の間は使用しない。

⑥ その他

- ア. マニキュア，ネイル，ネックレス，ブレスレット，化粧，装飾品類は禁止する。

(2) 頭髪・・・進路を見据えた，中学生にふさわしい髪型とする。（自分で考え，判断しましょう。）ただし次の項目は禁止とする。

色：自分本来の色と違う色にしない。

パーマ：禁止する。

※縮毛等で，日常生活に困難がある場合は，保護者の方から申し出てもらい協議する。

眉毛：不自然な形にしない。（細すぎたり，ラインを入れたりしない）

前髪：表情がはっきり分かるように整えることが望ましい。

長さ：教育活動の中で指示があった場合はくくること。

※ゴムは装飾のないものにする。頭頂部での髪の毛の結びは禁止する。（ヘルメットが正しくかぶれるようにする）

(3) 所持品

- ア. 不要なお金は持ってこない。
- イ. 入金等があった場合は、朝の会までに直接提出する。
- ウ. 学習に必要なもの、危険なもの、貴重品などは持ってこない。
- エ. 腕時計やペンダント、ピアスなどの装身具類を身につけない。
- オ. お茶は持ってきてもよい。(スポーツドリンクも可)
- カ. 自分の持ち物には、すべて名前を明記しておく。
- キ. 制汗剤や日焼け止めを使用する場合は、無臭のものを使用する。

(4) 靴・カバン

① カバン

- ア. カバン・サブバッグ(リュック)は学校指定のものとする。
- イ. 自転車に乗るとき、かばんは安全のために、自転車の荷台にゴム紐等で縛り、サブバッグは前かごに入れる。
- ウ. カバン・サブバッグにつけるキーホルダーは自他の判別をやすくするために1個までとする。

② 通学靴……………保健体育の授業で安全に活動できる運動靴とする。

③ 上靴……………学校指定のものを使用する。

④ 体育館シューズ…学校指定のものを使用する。

(5) 始業・出欠連絡

① 登校時間……………8:25までに教室に入って準備をする。

登校完了は8:30です。

② 下校時間……………一般の生徒は16:00が下校完了になります。部活動をしている生徒は、別に定める下校時刻を厳守しましょう。

③ 遅刻・早退・欠席……………8:00～8:20に保護者が学校に電話で連絡すること。

(6) 通学規定

① 登下校は交通規則をきちんと守り、決められた主要通学路を安全に通学する。

ア. 登下校中は、寄り道をしない。

イ. 人通りや民家の少ない道を通学するときは、一人での通学を避ける。

② 全地区とも、希望者には自転車通学を許可する。ただし、交通違反等があった場合は、自転車通学を禁止にすることもある。

③ 自転車で通学するときは、次のことを守る。

ア. 必ずヘルメットを着用する。(反射テープ付)

イ. 雨天時はレインコートを着用し、傘をさして乗らない。

ウ. カバンは、安全のために荷台にゴム紐等でくくりつける。

エ. 原則道路の左側を、一列で通行する。

オ. 二人乗りは絶対にしない。

カ. 日没後は必ずライトをつける。

キ. 交通規則をきちんと守る。(信号や交差点での一旦停止など)

- ④ 通学用の自転車は、次の規定に合ったものとする。
- ア. 不要な飾りやステッカー等をつけない。
 - イ. 自転車は荷台が付いているもののみ認める。
 - ウ. スタンドは両側スタンドのものとする。
 - エ. 学校指定の鑑札シールを必ず所定位置に貼りつける。
 - オ. 盗難に備えて必ず防犯登録をしておく。
 - カ. 学年や学級ごとに割り当てられた自転車置き場に整頓して並べ、カギをかける。(鍵には目印を)
 - キ. 通学用の自転車を替える時は、交通担当の先生に申請して許可を得る。
- ⑤ 登下校時に事故にあったとき、または起こしたときは、直ちに学校に連絡する。
- ア. 相手の連絡先を必ず聞く。
 - イ. 自動車のナンバーを記録する。

(7) その他

- ①生徒は職員室への入室はできません。入り口で先生を呼び、用件を伝えて下さい。
- ②他学年の棟や他のクラスの教室等へは入らない。
- ③放課後、用のない生徒はすぐ下校する。
- ④登下校中の寄り道、買い食いはしない。
- ⑤アルバイトは原則禁止する。
- ⑥以下の5点は、市内統一の規定です。
 - ・カラオケ，ゲームセンター，漫画喫茶，インターネットカフェへの，生徒のみでの立ち入りは原則禁止する。
 - ・午後10時以降の外出及び外泊は原則禁止する。
(補導対象となります。)
 - ・球技やスケートボード等の遊びは許可され、決められた場所で行う。
 - ・危険ながん具類(エアガン等)による遊びは原則禁止する。
 - ・監視人のいない海水浴場やプールでの遊泳禁止。中学生が海水浴場やプールへ行く場合は、3人以上で行く。(魚釣りも含む)